

かのうの子



東御市立和小学学校だより 令和3年12月号

租税教室開催 6年生 ～租税教育推進の表彰～



「みなさんは、どんな税金があるか知っていますか？」真っ先に6年生が答えたのはもちろん「消費税！」です。欲しいものを買った時に必ずついてくる税、子どもたちにとっても密接に関係したものです。他に出されたのは「市民税！」「たばこ税！」「あとは、うーん…。」

12月3日（金）上田税務署の方々に来校していただき、6年生対象に「租税教室」をしていただきました。子どもたちがどよめいたのは、「実は税金は約50種類あるんだよ！」

と聞いた瞬間でした。私たち職員も子どもたち以上に驚きました。税金の種類を学んだ後は、自分たちの身近にあるものの中で、税金でつくられているものを考えるクイズでした。「公園」「図書館」「病院」「消防署」といったものは迷うことなく「税金でつくられているもの」の方に分けた子どもたちが「スーパーマーケット」や「コンビニ」で迷っていました。「みんなの生活に必要なものを売ってるんだから、税金じゃないの？」「うん、そうか…。」なんて相談する声が聞かれました。もし税金がなくなったら、どんな世界になってしまうかをわかりやすく教えるアニメもを見せていただき、とても楽しく勉強ができました。税金がなくなると、警察に相談するときや家事で火を消してもらった時にもお金がかかることや教科書も有料になることを知り、改めて税金の大切さを実感していました。「税金は言わば『社会を支える会費』と言えるものだよ。」と教えてもらい、みんな納得しました。「でも、やっぱり消費税だけではなくないのかなあ…。」と素直な呟きが聞かれ、微笑ましかったです。



☆税金なんか減らしちゃえ!!!と思っていたけどビデオでは税がなくなった場合のことを、身の回りにおこりそうなことで説明してくれた。もっと税について深掘りしてみたいもう一回聞いて欲しいです。

☆税金の無い社会を見て、税金がないと学校や病院などに行くとものすごいお金がかかってしまい、行くのも難しくなってしまう。改めて税金の必要さや税金がある理由などが知れて良かったです。



感謝状をいただきました！

11月末のことですが、長年にわたり、税務署が行っている「租税教室」や「絵手紙づくり」に参加を続けている学校として、上田税務署から和小学校へ感謝状が送られました。署長さんが来校し、直接、小林校長に渡してくださいました。今回感謝状をいただいたのは、上田税務署管内では和小学校だけだそうです。楽しい企画に参加させていただいた上に感謝状と記念の盾まで贈呈していただき、と

てもありがたいです。今年度も来週、6年生が絵手紙づくりを行います。どんな素敵な作品ができるか今から楽しみです。

心温まる手作りのお祭り～2年生と5年生の交流～

12月7日（火）に2年竹組のみなさんが姉妹学級の5年竹組のみなさんをお祭りに招待しました。「輪投げ」「射的」「お化け屋敷」など様々なコーナーがありましたが、どのコーナーも自分たちで体験し、「もっとこうの方がいいんじゃない？」と、感じたことを伝え合い、いつも優しくしてくれる5年生のお兄さんやお姉さんが楽しめるよう、ルールや場や用具を改良してきたものです。特に目を惹かれたのは「モグラたたき」です。段ボールでつくった壁の向こうから2年生がモグラを登場させます。モグラを出す子、叩いた数をカウントする子、どちらも息つく間もありません。来店した5年生も息を切らしながらモグラを必死に叩き続けます。オンラインゲームが主流のこの時代に、集中力を研ぎ澄まし、体と頭を目一杯使った何とないゲームでしょう！感動しました！！



思わず担任も夢中に！



スタジオを使ったお化け屋敷の受付

何よりも素晴らしかったのは、笑顔で接客したり、ゲームに挑戦する5年生を必死に応援したりする2年生の姿です。寒い日でしたが、会場となった視聴覚室の中だけは活気と声援があふれ、まるで真夏のような様子でした。「あ～～～おもしろかった！！！」と呟く5年生、5年生に思い切り楽しんでもらったことになんとも言えない満足感を覚えた2年生、どこを見ても「笑顔・笑顔・笑顔」でした。



今度はどこからモグラが顔を出すかな？



2年生から「がんばれ わなげ！」の大声援

ことばをあつめてやってみよう～1年生お店屋さんごっこ～

1年生は国語で「ものの 名まえ」を学習し、ものには「りんご」「バナナ」「みかん」のような1つ1つのものにつけた名前と「くだもの」のようにまとめてつけた名前があることを知りました。そこで、「さかな」「文ぼうぐ」「どうぶつ」「やさい」などの「まとめてつけた名前」を集め、その中に入る「1つ1つの名前」を見つけ、図工の時間に絵カードを作り「お店屋さんごっこ」をすることにしました。値段も自分たちで決め、13日（月）には松組さんが店員さん、竹組さんがお客さんになりお店屋さんごっこを楽しみました。「いらっしゃいませ！」「どの品物がほしいですか？」「〇〇をください！」「ありがとうございます！☆☆円になります！」と、お互い役になりきって楽しみました。



グループの友だちと力を合わせて名前集めをすることで、楽しく言葉の学習ができました。お客さんと店員さんを務めることで、自分から声をかけたり、丁寧にお礼を言ったりすることの大切さも知りました。松組さんは「いつ竹組さんがお店に招待してくれるかな～」と心待ちにしています。

目で見て、実感できるように～3年生「分数」の学習～

初めて子どもたちが「分数」の学習をするのは2年生の終わりですが、本格的に「分数」が登場し、分数の計算の学習をするのは3年生のこの時期です。分数の学習はこれから先の算数の学習に大きく関係してくるのでとても大切です。ちょうどクリスマスが近づいているので「ケーキ」を例にして「2分の1」「3分の1」といった分数を考えたり、テープや口を使った図などを使ったりして、目で見て意識できるようにして学習しています。



最初は分数についてイメージしづらかった子どもたちも、実は自分たちの身近に分数がたくさんあることに気づきました。分数の難しさは、もとにしているものによって大きさや量が全く違うことです。例えば、折り紙 1 枚を基準にした時の 2 分の 1 は、折り紙を半分に折った大きさですし、円いクリスマスケーキを基準にした 2 分の 1 は、そのケーキを 2 つに切った半円です。クリスマスケーキにはいろいろなサイズがあるので、同じ「2 分の 1」でも大きさは違います。分数は、小学校で学習する算数の中で、多くの子どもたちが 1 番苦労する「割合」とのかかわりが大きいです。頑張っ

☆うちは 4 人家族なので、今年もケーキを 4 分の 1 食べます。クリスマスが待ち遠しいです。

☆2 分の 1 とか 3 分の 1 とか、始めは「なにかむずかしいな？」と感じたけれど、よく考えてみると、何かの長さとか何かの量とかにいっぱい分数があるなあと思いました。

またまたおいしくいただく！～4 年生サツマイモ収穫祭



スイカ、トウモロコシ、梅などこれまでたくさんの作物をおいしくいただいてきた 4 年生。今度は栽培したサツマイモを「蒸かしいも」にしました。「蒸し器」を使うのは初めての子が多く、子どもたちは「本当にこれで料理ができるのかな？」と半信半疑でした。蒸し器初体験の子どもたちは、出てくる水蒸気にビックリ！「先生、先生、すごい煙！大丈夫かな？」とざわついていました。「煙じゃないよ…。」と担任は苦笑い。そんな時、子どもたちの中から「この煙、甘くていいにおいがする！」という声

が。「本当だ！いいにおい！」「サツマイモの甘いにおいだ！」と子どもたちは大盛り上がり。そろそろかなと蒸し器の蓋を取ると、「うわーおいしそう！」とさらに盛り上がっていました。さあ、片づけをしてからおいしいお芋をいただこうと、蒸し器の上の段を取り外すと、「わ～！」という子どもたちの声。蒸し器の下の団のお鍋の中には、まるで、レモンを溶かしたように黄色く輝く水が。「水が真っ黄色になっている！！」「ほんとだ！すごい！」と子どもたちは目を丸くしていました。

お話の世界を満喫しました！～読書旬間～



親子文庫の方による読み聞かせ

11 月 22 日から 12 月 3 日まで秋の読書旬間でした。新型コロナウイルス感染状況が落ち着いていたので、マルーシカの会の方々に語りをしていただいたり、親子文庫の皆さんに読み聞かせをしていただいたりすることができました。お昼の放送を使って図書委員さんが読み聞かせをしてくれたり、給食室の先生方がお昼の放送のお話に出てきた食べ物と同じ「コラボ給食」を提供してくれたりもし、読書の秋と食欲の秋を同時に満喫できた 2 週間でした。

マルーシカの会の皆さんは、学年や学級ごとに違ってお話の語りをしてくださいました。5 年竹組は「運のいい話」「てきぱきシアンシアンのむこえらび」というお話を

聞きました。今回も、何も見ずにすらすらと長いお話を語るマルーシカの会の皆さんの話術に魅了されたようです。5年竹組の皆さんの感想を紹介します。



【マルーシカの会のみなさんの語りを聞いての感想】

- ☆本に書いてある物語を暗記して読めるなんてすごかったです。
- ☆2つともいいお話でした。個人的には中国の昔話が面白かったです。本を見ないでお話を話すことができるなんてすごいなあと感じました。私もときばきシアンシアンみたいにすばやく行動したいです。
- ☆絵がないのに、声だけでその時の様子を想像できました。すごかったです。図書館にあの本があったら借りて読んでみたいです！

44人でスタート！～新生管楽器部の活動～



11月の発表をもって6年生が引退し、4・5年生管楽器部の活動が44名でスタートしました。新型コロナウイルス感染状況が落ち着いているので、音を出しての練習を行っていますが、油断は禁物。できるだけ間隔を空けて毎朝練習を行っています。とは言っても、音楽室で44名全員での活動となると、お隣の友だちと1m間隔を取るだけで精一杯です。何とか1.5mの間隔を確保したいのですが、なかなか厳しいです。今は打楽器メンバーのリズム打ちに合わせて毎日基礎トレーニングをしています。さすがに引退した6年

生のようなキレのある音はまだ出せませんが、毎朝職員室に聞こえてくる音が着実に安定してきて、ひびき始めています。毎朝練習に取り組む4・5年生の表情は真剣そのものです。きっとこれからどんどん上達していくことでしょう。この先も、毎日練習に取り組めるような状況が続けばいいと思います。

寒さに負けず、体を動かそう！～鉄棒・フロアサッカー～



室内用の鉄棒とフロアサッカー用のパックを購入しました。どちらも早速、体育の授業で使っています。今年も今のところは校庭が使っていますが、校庭の鉄棒がある場所は日当たりが悪く、この時期になると鉄棒を握るのは冷たくてなかなか難しいです。でも、室内で練習できるとなると子どもたちのやる気もグーンとアップします。何度も何度も逆上がり

に取り組む子どもたちの姿が見られます。フロアサッカーのパックは、低学年の子どもたちにはちょっと重めですが、浮くことがなく球技が苦手な子どもたちにも抵抗なく蹴ることができます。これから校庭が使えなくなっても、体育館で思い切りサッカーが楽しめそうです。サッカーの経験がない子どもたちがとても楽しそうに体育に取り組んでいます。笑顔いっぱいの表情を見るだけで、私たち職員はうれしい気持ちになります！



アンケートへのご協力 ありがとうございました！

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度はオクレンジャーを使ってアンケートを実施しましたが、300名以上の皆様にご回答いただきました。いただいたご意見については、真摯に受けとめ、改善していきたいと思っております。

駐車場に関してのご意見を多数いただきました。現在、旧和保育園跡地で児童館建設工事が本格的に始まり、来校される皆さまの駐車スペースが確保できず、ご迷惑をおかけしております。和小学校には現在約250家庭のお子さんが通学しています。すべての保護者の皆様に駐車していただけるスペースを確保するのは大変難しい状況になっています。学校側としても、近隣の施設に駐車スペースの提供をお願いするなど努力していきますが、今後も参観日や学校行事等には、できるだけ徒歩で来校いただけるようご協力お願いいたします。

職員も常に学ぶことを大切に

毎月1～2回行われる職員会議の最初に全職員で「非違行為防止研修」を行っています。11・12月の職員会では、具体的な場面を取り上げ、パワハラや体罰の防止にかかわる研修を行いました。時には、役割演技を行ったり、外部の方に来校していただいて講話をしていただいたりすることもあります。これまで14回の研修を行いました。毎回、新しい発見があり、自分を見つめ直しています。

ICT活用に関しても、定期的に研修を重ねています。もし、新型コロナウイルス感染拡大により休校措置が取られた場合に、子どもたちの学習面はもちろん、心の面もどのようなサポートができるのかを考え、どの職員もICTを使ったサポートができるように練習しています。もちろん、そんな状況にならないことが一番いいのですが…。



先日は、児童のタブレットに日記や感想記入の課題を配布する研修を行いました。

1月の予定

※年末年始休業 12月28日～1月6日

※学校リフレッシュウィーク（学校閉庁日）

12月29日～1月5日

1日（土）元日

4日（火）和地区書き初め大会（和コミュニティセンター）

7日（金）3学期始業式 安全点検日

5時間授業 市巡回展（～14

日）

10日（月）成人の日

11日（火）校内書き初め展（～21日）

避難訓練

13日（木）スケート教室2・3年

14日（金）和記念館清掃4年

19日（水）スクールカウンセラー来校日

21日（金）そり・スキー教室

24日（月）給食週間（～28日）

29日（土）交通少年団退団式

31日（月）冬の読書祭り（～2月4日）

マイナスを記録する朝が徐々に増えてきました。寒さの中、鯉の池や水路、水たまりの氷を見つけると、低学年の子どもたちは大喜び。氷の上によって滑る、踏みつける、持ち上げて眺める、地面にたたきつけて割ってみるなど、楽しみ方は様々。「何でそんなにも氷が好きなの」と聞いてみると、割れるから、融けるから、冷たいから、滑るから…。中には、おいしいから、というものもありました。寒さの中でも、物に触れて感じたことを体全体で楽しんでいるのだと思います。子どもたちは好奇心の塊です。大人にとっては何でもないことが、子どもたちにとっては、新たな発見であったり、わくわくする瞬間であったり、挑戦したくなることであったりします。こうした好奇心の芽を大人は摘み取っていないだろうか、振り返っています。

年の瀬も押し迫ってきました。和地区の皆様にとって来る年がよい年でありますようにお祈りいたします。